

2009年12月15日
東日本旅客鉄道株式会社

信濃川 ふるさとの森づくり

2年間で16種約3万5千本の木を植えるプロジェクトを立ち上げます。

“森”は様々な生命の源であり、森の土壌は水を貯め、浄化する働きを持っています。また木々だけでなく、多種多様な生物が生息する生態系もつくりあげています。JR東日本では、生命の源としての森を、その土地本来の木を植えて再生する活動(森づくり)を通じ、自然への感謝の気持ちを持つとともに、地球の未来に貢献したいと考えております。

2004年から2009年にかけて、福島県安達太良山麓において森づくりを6回行ってまいりましたが、今回、新潟県及び津南町の協力を得て、同町において植樹を行うこととなりました。

信濃川ふるさとの森づくりでは、宮脇 昭 氏(横浜国立大学名誉教授)の指導により、16種約3万5千本の苗木を2010年、2011年の2年間植樹し、その土地本来の森を再生します。

- 1 名 称 信濃川 ふるさとの森づくり
- 2 主 催 東日本旅客鉄道株式会社
- 3 開催日時 2010年6月26日(土)(2011年は未定)
- 4 場 所 新潟県中魚沼郡津南町内(町有地)
- 5 実施内容
 - ・「森づくり」
今回は16種1万7000本の苗木を参加者全員で植樹します。
 - ・「地域の方々との交流、自然観察ミニウォークの実施」
昼食時には地元で取れた農産品や特産品などを販売し、植樹地近辺を散策する自然観策ミニウォークも開催します。
- 6 参加者募集 ボランティアとしてご参加いただける方の募集については、別途お知らせいたします。